

茶道部だより

2013年12月8日
【発行】
大妻女子大学
茶道部
【発行責任者】
皆川恵里奈

ついでに

本日はお忙しい中、私ども大妻女子大学茶道部の雪待茶会にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。

朝夕の風の冷たさが厳しくなっておりますと、今年も雪待茶会を迎えたのだと、一年をとっても早く感じます。カレンダーも最後の一枚となり、もうすぐ年の瀬という事実、寂しくも心躍るような心境でございます。

さて、今年も例年通り、立礼席と広間席の二席をご用意致しました。立礼席では、新入生が初めてお点前を披露致します。靖国神社という素晴らしい場所でお茶会を行えることに、部員一同喜びと畏れの気持ちでお点前に臨みます。至らぬ点もあるとは思いますが、皆さまに楽しい一時を過ごして頂けたら、幸いです。

雪待係・部長 皆川 恵里奈

お知らせ

■ 大妻女子大学名誉教授・元茶道部顧問の石井とめ子先生が、十一月三日、瑞宝小綬章を叙勲されました。石井先生は現在も日本手工芸作家連合会の副会長を務められ、手工芸文化の発展に貢献されております。この度の功績心よりお喜び申し上げます。

■ 来年で私ども大妻女子大学茶道部は創部六十五周年を迎えます。それにあたり、来年十二月一日、六十五周年記念茶会を催します。皆様お誘い合わせの上、お越しください。

先生方からの言葉

千代田校顧問
人間関係学部長
町田 章一
(町田 宗憲)



平成二十五年四月から茶道部の顧問をしております町田です。よろしくお願ひします。

私は子供の頃から歴史や古いものが好きで、学生の頃にはすでに骨董品や古美術品を蒐集していました。そして、それらの中に茶道具が多く存在し、古美術骨董を築しむには茶道の知識と経験が欠かせないと思ひ、お茶を始めました。ですからもう四十年以上も勉強していることになりました。しかし、お手前の方はなかなか身に付かず、恥ずかしい限りです。

お茶には様々な楽しみがありますが、美しい道具に触れることもその一つです。特に、何百年も人々の間で大切にされてきたものや、その道具にいろいろなおエピソードが付いているものは格別です。何しろ私達より前からこの世に存在し、私達よりも長くこの世にあり続けるのですから、道具の方がはるかに長生きです。縁あって私と同居している茶道具達が茶会などを通じて皆様の目に止まり、皆様に喜んで頂ければ、道具達もきっと喜んでくれることと思ひます。次はどのような道具達と出合えるか、心待ちにしています。

千代田校顧問
浅賀 宗容



一碗のお茶を通して、亭主は心を尽くして客をもてなし、客のほうはそうした亭主の真心に賢明に答えようとする、こうした心の交流こそ、茶の湯の最も大切にしているところです。

こうしたお茶の心持ちを昔から「和敬清寂」という言葉でいいあらわしています。「和敬」というのは主客が仲良く敬い合うこと、礼儀作法はそのころのあらわれといえます。

礼儀作法というと、こうでなければならぬとかたちばかりが先立ちますが、こちらの気持ちを相手に伝えることができる一番便利な、最短距離の方法だと思ひます。

大人達は、知っておくと将来本人のために良いからと、中高生や学生、若い方々に指導というかたちで入るので堅苦しいと思われてしまうのでしょうか。しかしながら相手のことを思うと自然と出てくる行為でもあります。

「静」は心の美しさ、清らかさを説いていますが、具体的には茶室や露地、その他すべてに行き届いた掃除をし、道具類の十分な手入れと物を大切にすることを指します。掃除や手入れをするには茶室や露地、道

具にいたるまで知識が必要になると思ひます。

お道具などは何でも同じ扱いにはならないので、どんなお道具なのか、知る必要があります。知ることでお道具に対して愛着を持ち、大切に扱うようになりま

す。「寂」は「侘びの心」に通じるといいます。茶の湯の目指すものでもあるのです。なかなか説明しにくいことばです。

気ぜわしい毎日の生活の中でお茶をいただくことで、ふと心穏やかになりま

す。そしてなぜか、豊かな気持ちにさせてくれます。この気持ちがやがて「侘びの心」を覚えてくれると思ひます。

お客さまを招くとき、個人的なもので大寄せの茶会でももてなしの心は同じです。

あからさまにもてなしをしていますよというのではなく、相手に対する思いやりの心、その気持ちがさりげなく相手に伝わるこそそれが、お・も・て・な・しに通じます。

私たちは絶えず人と人とのふれあいの中で生活をしています。それが大切なので生活をしていきます。それが大切なので生活をしていきます。

新入生からの言葉

【入部して】

立崎 若葉

茶道というと、抹茶をたてるという漠然としたイメージしかなかった私にとつて、お稽古では初めて知る事ばかりで、覚えることで精一杯ですが、季節を連想させるお道具と、お菓子の形や絵柄に心を和ませております。また、先生や先輩の皆さんはとも親切な方々で、お忙しいにもかかわらず部活に積極的に参加し、少ない部員数という厳しい状況

の中で茶会の準備に奮闘なさっている姿は、私にこの先生や先輩方の助けになれるよう、早く成長したい。頑張ろう。と思わせて下さいます。今は足を引く張つてしまわない様にお稽古に励むことしか出来ませんが、少しでも力になれるように、そして早くそのような日を迎えられるよう精進していきたく思っております。



平成24年度雪待茶会にて

編集後記
慌ただしい準備の中での編集作業でしたが、こうして無事発行することができ、大変うれしく思ひます。最後まで、編集に当たりご協力くださった先生方、部員の皆様には、心より御礼申し上げます。
編集担当 皆川

発行日 平成 25年 11月 8日
発行者 大妻女子大学茶道部
〒102-0075 東京都千代田区三番町 12 番地
責任者・編集者 皆川恵里奈
Mail otsumasadou@yahoo.co.jp
HP <http://otsumasadou.web.fc2.com/index.html>